

2013-B					
拠出金・基金の名称		国連国際防災戦略事務局拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】 国連国際防災戦略事務局(UNISDR)					
【所管官庁担当局課・室名】 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)付					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<p>ISDRは、各国が自らの力で防災を進められるよう、国際的な防災指針である「兵庫行動枠組(2005-2015)」(HFA)に基づく各国の防災取組を定期的に調査し取りまとめるなど、HFAを着実に推進するための活動を実施している。</p> <p>IRPは、復興過程で、次の災害に備えて地域の防災力を強化し、持続可能な開発に繋げるための国際社会全体での連携した取組(復興に関する知識の集積・発信、復興に関する人材の育成、大規模災害からの復興支援など)を行っている。</p> <p>我が国の拠出金は、こうした取組に活用されている。</p>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成25年度	42,640	520	-	1ドル = 82円	0
平成24年度	42,120	520	-	1ドル = 81円	0
平成23年度	24,030	270	-	1ドル = 89円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>ISDR事務局の活動により、2005年以降、途上国を中心として多数の国において防災意識が向上している。具体的には、86ヶ国で防災政策を国内で実施する基盤となる防災国内委員会を設置した(兵庫行動枠組みが採択された2005年以前は10ヶ国程度であったが、約8倍に増加している。)</p> <p>また、IRPの活動により、各国における「よりよい復興」に向けて必要となる知識の共有が進んでいる。</p> <p>具体的には、復興活動についての経験を取りまとめた「分野別復興ガイダンスノート」をもとに、各国の政府職員を対象とした人材育成事業「IRP復興ワークショップ」を4カ国で実施、のべ125名が履修した。</p>					